

株主の皆様へ

— 第97期[中間期] —

株 主 通 信

2016年4月1日～2016年9月30日

LIFE with ASKA

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する



コーポレートキャラクター
あすかちゃん

 あすか製薬株式会社

5カ年中期経営計画「ASKA PLAN 2020」がスタート。
「存在感のあるスペシャリティファーマへ」をビジョンとして掲げ、
数値目標『売上高700億円、営業利益率10%、ROE8%』
の達成を目指してまいります。



代表取締役社長

山口 隆

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

第97期前半（2016年4月1日から2016年9月30日）の事業概況をご報告するにあたり、
ご挨拶申し上げます。

本年4月から取り組んでいる中期経営計画「ASKA PLAN 2020」は、おかげさまで順調にスタートすることができました。引き続き対処すべき課題に取り組み、目標達成を目指してまいります。

医薬品事業に関しましては、申請中であったリファキシミンが本年9月に製造販売承認を取得し、「リフキシマ」として年内に販売を開始する予定です。本剤は「ASKA PLAN 2020」の中核をなす期待の新薬であり、「肝性脳症における高アンモニア血症の改善」の適応症にて

目次

株主の皆様へ	1
事業の概況	3
リフキシマ～肝性脳症に苦しむ患者さんとそのご家族のために～	5
トピックス	7
新製品、主要製品	9

中間連結財務諸表	10
会社概要	11
株式の概況	12
株式に関するお知らせ	13

市場への浸透を図ることにより、その価値の最大化を進めてまいります。

また、当社としてオーソライズド・ジェネリックの第3弾となる「カデチア配合錠 LD・HD『あすか』」を本年9月に発売しました。本剤は、「カンデサルタン錠『あすか』」、「カムシア配合錠『あすか』」と同様に、原薬、添加物、製造方法が先発品と同等であるオーソライズド・ジェネリックであり、幅広い医療ニーズにお応えできる医薬品です。オーソライズド・ジェネリック市場のさらなる拡大を図り、当社のジェネリック事業のプレゼンス向上につなげていきたいと考えております。

研究開発に関しましては、選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタ

ル）および遺伝子組換え卵胞刺激ホルモンAKP-501の製造販売承認に向け開発を進めております。

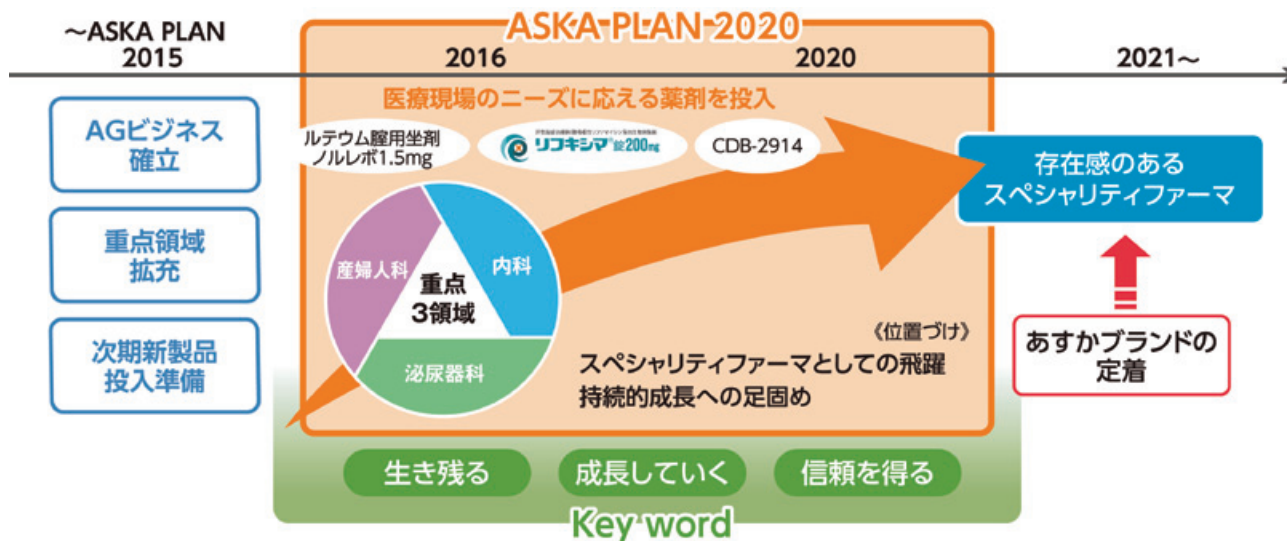
引き続き売上拡大を目指す一方で、原価低減や費用の削減に取り組み、収益体質の強化に努めてまいります。

当社グループは、2020年の創立100周年に向けさらに結束を深め、一丸となって社業発展に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年11月

ASKA PLAN 2020の目指す姿



事業の概況

当中間連結会計期間における売上高は243億1千6百万円（前年同期比15.2%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が前年同期比ほぼ横ばいとなる一方、増収に伴う売上総利益の増加等を受け、営業利益13億3千2百万円（前年同期比135.6%増）、経常利益14億5千5百万円（前年同期比111.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億7千5百万円（前年同期比222.2%増）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①医薬品事業

LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤リュープロレリンの売上が大幅に伸長したことに加え、カンデサルタンに続く2製品目のオーソライズド・ジェネリックとして本年3月に発売した

カムシア配合錠の寄与等により、売上高は220億2千万円（前年同期比16.4%増）、セグメント利益は24億5百万円（前年同期比58.6%増）の増収増益となりました。

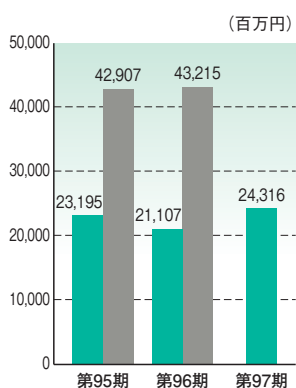
②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、動物用医薬品事業が堅調に推移した結果、売上高22億9千5百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益1億2千2百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

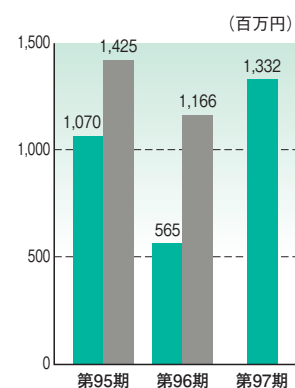
なお、当中間連結会計期間における研究開発費総額は19億7千4百万円であります。

財務ハイライト（連結）

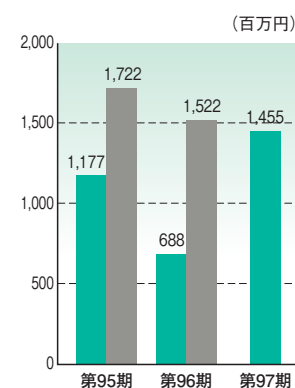
売上高



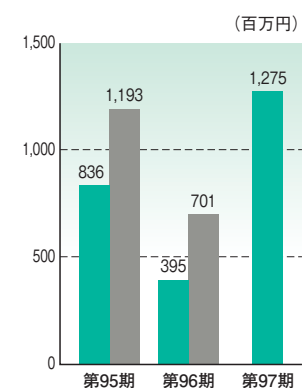
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



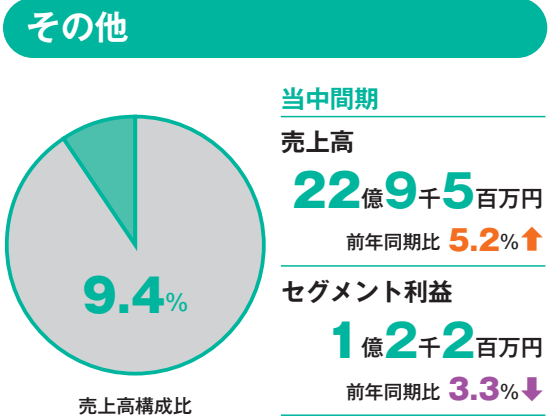
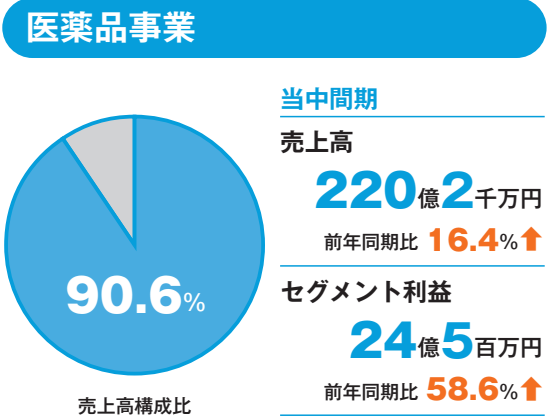
（注）当中間期末の自己資本比率は60.9%です。

研究開発におきましては、重点領域である内科・産婦人科・泌尿器科領域を中心とした創薬研究および臨床開発を推進するとともに導出入活動および事業提携戦略も積極的に展開しております。

生産面では、新たに建設したいわき工場第四製剤棟が本年3月に稼働を開始しており、生産能力の拡充、グローバル品質の医薬品供給体制の構築に取り組んでおります。

当社は、これからも企業情報を積極的かつ公正に開示し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーとの対話を充実させるべくIR・広報活動を推進してまいります。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



◆ 研究開発の状況(2016年11月現在)

開発コード/領域・効能	フェーズⅠ	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請・承認	備考
CDB-2914(ウリプリスタル) 子宮筋腫		フェーズⅡ			Laboratoire HRA Pharma,SA(フランス) より導入
AKP-501(r-FSH) 不妊症	フェーズⅠ				JCRファーマ株からの 導入および共同開発

★L-105(リファキシミン)については、本年9月に製造販売承認を取得しました。

リフキシマ～肝性脳症に苦しむ患者さんとそのご家族のために～

◆ 難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」 製造販売承認取得

本年9月、当社は、難吸収性抗菌薬「リフキシマ錠200mg（一般名：リファキシミン）」について、「肝性脳症における高アンモニア血症の改善」を効能・効果として製造販売承認を取得しました。現在、年内の販売開始に向けて準備を行っています。

本剤はAlfa Wassermann S. p. A.（本社：イタリア ポローニャ）より導入したリファマイシン系の難吸収性抗菌薬であり、腸内細菌に作用し肝性脳症の主な原因となるアンモニアの産生量を減少させ、肝性脳症における高アンモニア血症を改善する薬剤です。

1985年にイタリアで承認されて以来、肝性脳症をはじめ、旅行者下痢症等の疾患を適応症として、既に60カ国以上で承認され広く使用されています。海外における臨床試験や文献情報等により有用性および安全性が数多く示され、多くの国で本剤の使用が推奨されております。

リファキシミンの国内外の現状

世界

- 60カ国以上で承認取得
- 英国国立医療技術評価機構（NICE）ガイダンス
➔ 肝性脳症再発予防に推奨

国内

- 希少疾病用医薬品指定（2013年5月）
- 製造販売承認取得（2016年9月）
- 肝硬変診療ガイドライン2015（日本消化器病学会）
➔ エビデンスレベルA

国内では、2013年5月に厚生労働省より希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）に指定された他、日本消化器病学会が発行する「肝硬変診療ガイドライン2015」において、本剤が保険収載された場合には肝性脳症に対して投与を行うよう提案されており、今後、本剤が肝性脳症治療における新たな選択肢となることが期待されております。

本年4月よりスタートした中期経営計画「ASKA PLAN 2020」においても、その中核をなす期待の新薬であり、肝性脳症治療での市場への浸透、売上拡大を図り、製品価値の最大化を進めるとともに、肝性脳症に苦しむ患者さんやそのご家族のQOL向上に努めてまいります。

Alfa Wassermann社を迎え、ショートレクチャーを開催



本年10月26日、販売開始を控える新薬「リフキシマ」の導入元であるイタリアAlfa Wassermann社よりCorporate Business DevelopmentのAndrew G.Thompson氏とGiampiero Piccinini氏を本社に迎え、社員に対してリファキシミンに関するショートレクチャーを開催しました。Thompson氏は、「リファキシミンは世界各国で販売されているワールドワイドな製品であり、様々な可能性が期待できる薬剤です。日本の患者さんの要望に応えるために、しっかりと協力体制を取っていきたいと思います。」と述べられました。これに対し当社の山口社長も、「これまでの協力に感謝します。今後は勇気と自信を持って、『リフキシマ』の日本市場への定着と早期育成・価値最大化に努め、日本の医療に大きく貢献していきます。」と御礼の言葉を伝えました。



（左から：山口社長、Andrew G.Thompson氏、Giampiero Piccinini氏）



◆ AG第3弾となる高血圧症治療剤 「カデチア配合錠 LD・HD『あすか』」新発売

当社は、高血圧症治療剤「カデチア配合錠 LD・HD『あすか』」を、本年9月に新発売しました。

本剤は、先発品である武田薬品工業株式会社の「エカード配合錠」と、原薬や添加物、製造方法が同等のオーソライズド・ジェネリック (Authorized Generic: AG) であり、当社にとっては「カンデサルタン錠『あすか』」、
「カムシア配合錠 LD・HD『あすか』」に続く、3製品目のAGとなります。

今年度よりスタートした中期経営計画「ASKA PLAN 2020」において、AGを後発医薬品事業強化の中心に位置づけており、本剤の売上拡大が計画目標の達成に大きく寄与するものと考えております。

カンデサルタンAGファミリーを通じて高血圧症治療に貢献するとともに、今後も多様な医療ニーズにお応えする医薬品をお届けしてまいります。

オーソライズド・ジェネリック (Authorized Generic : AG) って何？

先発医薬品メーカーから特許使用許諾を受けて製造されるジェネリック医薬品で、原薬、添加物および製造方法は先発医薬品と同等です。

先発医薬品と効果や安全性が同等で価格も安いので、様々な医療ニーズにお応えできる薬剤です。



あすかのカンデサルタンAGファミリー



左 上: カムシア配合錠 LD・HD「あすか」(2016年3月発売)
(カンデサルタンとアムロジピンの配合剤)

中央下: カンデサルタン錠「あすか」(2014年9月発売)
(カンデサルタン単剤)

右 上: カデチア配合錠 LD・HD「あすか」(2016年9月発売)
(カンデサルタンとヒドロクロチアジドの配合剤)

◆「法務・コンプライアンス部」新設

本年7月、コンプライアンス推進体制のさらなる強化を目的として、各本部から独立した法務・コンプライアンス部を新設しました。生命関連企業としてコンプライアンスを重視し、より一層の倫理性と透明性の確保に努めてまいります。

日本製薬工業協会のコード理解促進月間である11月には、社内啓発の一環として、同協会より配布されるポスターを職場ごとに掲示し具体的な点検項目を設定することで、企業活動の適正化を推進しました。

今後もコンプライアンス体制の強化に努め、より高い倫理性と透明性を確保することで、ステークホルダーからの信頼を高めてまいります。



◆「第1回企業ボランティア・アワード」受賞

当社は、環境、社会、企業統治の3つの側面から企業の在り方を見つめ、地域社会に貢献する取り組みを続けています。

女性社員8名で立上げたボランティアサークル「マーガレット」は、2008年4月より本社のある港区を中心に



様々な活動を行っており、現在までに約30名が参加しています。

この度、「NPO法人スペシャルオリリンピックス日本・東京」への障害者支援活動が評価され、東京ボランティア・市民活動センター主催「第1回企業ボランティア・アワード」を受賞しました。

今後もCSR活動に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。

新製品、主要製品

◆ 新製品 ～新しくラインナップに加わります～

内科



●**高血圧症治療剤**
カデチア配合錠 LD・HD「あすか」
カンデサルタン錠「あすか」、カムシア配合錠「あすか」、に次ぐ3製品目のオーソライズド・ジェネリックです。

内科

発売準備中



●**難吸収性リファマイシン系抗菌薬**
リフキシマ錠 200mg
難吸収性抗菌薬の中で、本邦で初めて「肝性脳症における高アンモニア血症の改善」を効能・効果とする薬剤です。

◆ 主要製品

医療用医薬品

内科	カンデサルタン類	高血圧症治療剤
内科	チラーヂン	甲状腺ホルモン剤
内科	メルカゾール	抗甲状腺剤
内科	リビディル	高脂血症治療剤
内科	アムロジピン	高血圧症治療剤
産婦人科	ノルレボ	緊急避妊剤
産婦人科	ルテウム	黄体ホルモン製剤
産婦人科 泌尿器科	リュープロレリン	前立腺癌・乳癌・子宮内膜症治療剤
泌尿器科	ピカルタミド	前立腺癌治療剤
泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌治療剤

動物用医薬品

アイブロシンプラス	豚・鶏呼吸器疾患治療剤
レジブロン	プロスタグランジンF2α類縁体製剤



チラーヂンS錠12.5μg・25μg・50μg・75μg・100μg



リビディル錠53.3mg・80mg



ノルレボ錠1.5mg



ルテウム腔用坐剤400mg



リュープロレリン酢酸塩注射用キット
1.88mg・3.75mg「あすか」



ピカルタミドOD錠80mg「あすか」



アイブロシンプラス-10・50



レジブロン-C

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前年度末 2016年3月31日現在	当中間期末 2016年9月30日現在
資産の部		
流動資産	26,878	31,043
現金及び預金	5,462	8,321
受取手形及び売掛金	8,566	10,419
有価証券	—	—
その他	12,850	12,302
固定資産	30,599	29,654
有形固定資産	13,801	13,464
無形固定資産	3,296	3,832
投資その他の資産	13,501	12,357
投資有価証券	8,985	8,520
その他	4,515	3,837
繰延資産	—	—
資産合計	57,478	60,698
負債の部		
流動負債	10,992	13,561
固定負債	10,524	10,159
負債合計	21,517	23,720
純資産の部		
株主資本	34,398	35,485
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	34,759	35,839
自己株式	△ 2,410	△ 2,402
その他の包括利益累計額	1,562	1,491
その他有価証券評価差額金	1,984	1,870
退職給付に係る調整累計額	△ 422	△ 378
非支配株主持分	—	—
純資産合計	35,961	36,977
負債純資産合計	57,478	60,698

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当中間期 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
売上高	21,107	24,316
売上原価	12,732	15,023
売上総利益	8,375	9,292
返品調整引当金繰入額	△ 2	3
差引売上総利益	8,377	9,288
販売費及び一般管理費	7,812	7,956
営業利益	565	1,332
営業外収益	184	264
営業外費用	61	141
経常利益	688	1,455
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前中間純利益	688	1,455
法人税等	271	180
中間純利益	417	1,275
非支配株主に帰属する中間純利益	21	—
親会社株主に帰属する中間純利益	395	1,275

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前中間期 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当中間期 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,242	4,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,693	△ 240
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,436	△ 1,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,499	2,859
現金及び現金同等物の期首残高	9,574	5,462
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,075	8,321

会社概要 (2016年9月30日 現在)

会社の概要		
社名	あすか製薬株式会社	ASKA Pharmaceutical Co.,Ltd.
設立	1929年6月28日	(創立1920年6月16日)
資本金	11億9,790万円	
主な事業内容	医薬品、動物用医薬品、医薬部外品、食品および医療機器等の製造・販売ならびに輸出入	
主な事業所	東京都港区芝浦二丁目5番1号	
本社	川崎研究所（神奈川県川崎市）	
工場	いわき工場（福島県いわき市）	
支店	札幌支店、東北支店、東京支店、横浜支店、千葉・埼玉支店、北関東支店、甲信越支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、中国・四国支店、福岡支店	
従業員数	880名（連結）	805名（単体） (9月30日現在)

子会社			
会社名	資本金 百万円	当社の 議決権比率 %	主要な事業内容
㈱あすか製薬メディカル	30	100	検査事業、ヘルスケア事業、飼育関連業務
あすかActavis製薬㈱	345	100	医薬品の開発、販売ならびに輸出入
あすかアニマルヘルス㈱	100	100	動物用医薬品、飼料および飼料添加物等の製造、販売ならびに輸出入

役員 (2016年10月1日現在)			
役員	代表取締役社長 全社統括	山口	隆
	専務取締役 社長補佐	丸尾	篤嗣
	取締役 常務執行役員 開発本部長、創業研究担当	加藤	和彦
	取締役 常務執行役員 信頼性保証、監査、 法務・コンプライアンス担当	川原	真幸
	取締役 常務執行役員 営業統括 兼 あすかActavis製薬㈱代表取締役社長	福井	雄一郎
	社外取締役	上田	栄治
	社外取締役	吉村	泰典
	常勤監査役	大竹	充
	常勤監査役	齋藤	守信
	社外監査役	武田	裕二
	社外監査役	折木	榮一

執行役員	執行役員 管理本部長、 新システム推進担当	村上	誠
執行役員	特命事項担当 (㈱あすか製薬メディカル代表取締役社長)	蓮見	幸市
執行役員	生産本部長	熊野	郁雄
執行役員	営業本部長	寺本	裕国
執行役員	信頼性保証本部長	仲田	崇夫
執行役員	創業研究本部長	濱寄	秀久

株式の概況 (2016年9月30日 現在)

株式の状況

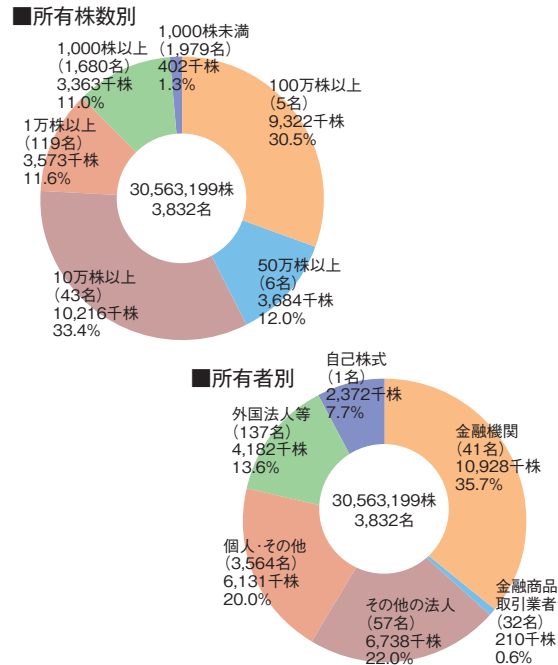
■発行済株式の総数	30,563,199株
■株主数	3,832名

大株主の状況（上位10位）

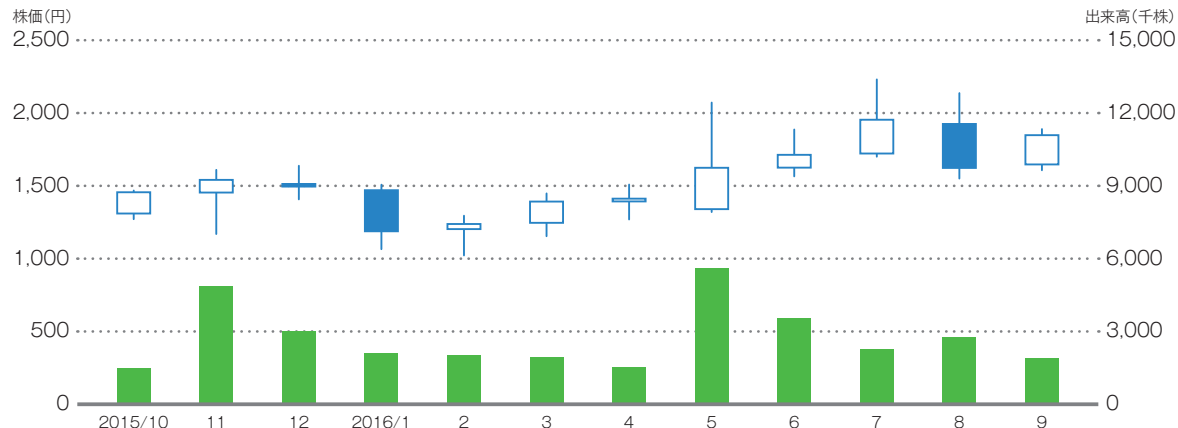
株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
武田薬品工業株式会社	2,204	7.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,913	6.7
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,731	6.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,100	3.9
山口 隆	914	3.2
あすか製薬従業員持株会	660	2.3
株式会社ヤマグチ	556	1.9
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.8
日本生命保険相互会社	522	1.8
トーア再保険株式会社	500	1.7

(注) 1. 当社は自己株式を2,372,002株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布



株価・売買高の推移



株式に関するお知らせ

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様へ

より安全で、迅速な配当金のお受取り方法として、次のいずれかをお勧めいたします。
詳細は、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



配当金を銀行口座で受取りたい

登録配当金受領口座方式 または 個別銘柄指定方式

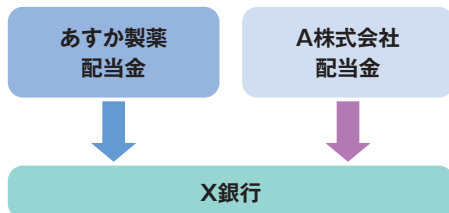
登録配当金受領口座方式

ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行（※）口座でお受取りいただけますので、配当金をまとめて管理したい株主様に便利です。

お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、全ての銘柄の配当金を、同一銀行口座でお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行は、指定出来ません。

※一部の銘柄だけ別の銀行口座や別の方式を指定することは出来ません。



個別銘柄指定方式

株式をご所有の銘柄ごとに銀行口座を指定して、配当金をお受取りいただけます。

※ゆうちょ銀行も指定出来ます。



配当金を証券会社の口座で受取りたい

株式数比例配分方式

配当金を証券会社の口座で管理したい株主様に便利です。複数の証券会社であすか製薬株式をご所有の場合でも、証券会社ごとのご所有株式数に応じて、配当金をそれぞれの証券会社の口座で按分してお受取りいただけます。お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、株主様のご所有の全ての銘柄についてお手続き出来ます。

また、2014年1月から開始した「NISA（少額投資非課税制度）」（※）において、配当金等を非課税とするには、本方式（株式数比例配分方式）を選択していただく必要があります。

ただし、ご所有の株式の一部が特別口座で管理されている場合、またはご所有の株式の一部が、本方式を採用していない証券会社にご預託の場合には、本方式が適用されず、非課税とはなりませんのでご注意ください。



※NISA（少額投資非課税制度）とは

- ・NISA口座で購入した上場株式等の配当金および売買益等が5年間非課税になる制度です。
- ・非課税投資枠は、新規購入額で年間100万円（最大500万円）で未使用枠の翌年以降の繰越は出来ません。
- ・すでにご所有の上場株式等は対象になりません。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.aska-pharma.co.jp/invest/index.html
公告の方法	(ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすることが 出来ない場合は、日本経済新聞に掲載 して行う。)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座*の場合
・ 単元未満株式の買増・買取請求 ・ 届出住所・姓名などのご変更 ・ 配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ ・ 特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120 (232) 711 (通話料無料) http://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構（ほふり）に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。
特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことが出来ませんのでご注意ください。

●ご案内：少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 4514

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセス出来ます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセス出来ます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
 (株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
 ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
 MAIL:info@e-kabunushi.com

14



あすか製薬株式会社

本 社 〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
TEL.03 (5484) 8361(代) FAX.03 (5484) 8351
<http://www.aska-pharma.co.jp/>

